兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R3. 2. 18
発行
第 375 号

この１年を振り返って・・・

立春を過ぎ、本格的な春の訪れが待たれる頃となりました。２月２日には、兵庫県を対象とする緊急事態宣言が延長されましたが、引き続き、感染防止に注意しながら、３学期の学習を進めています。

この１年を振り返りますと、一斉休校や行事の中止、授業時間の短縮など、つらいことばかりが思い出されます。しかしその中でも進んだことがあります。それは、授業のデジタル化への対応です。病棟へはタブレットを持ち込み、動画等の活用が日常的に行えるようになりました。また、教室での授業では、タブレットと電子黒板をつないで、大画面での映像を体験したり、中には本校の授業にオンラインで参加したりする児童もいました。つらいことが多かった１年ですが、今後の授業にプラスになることが、確実に生まれてきていることも、お知らせしておきたいと思います。

さて、ついこの間に新しい年を迎えたばかりですが、もう２月も終わりに近づいています。卒業学年のみなさんは、残すところあと１８日となりました。この１年のまとめの学習を、充実したものにしていきましょう。

（教頭　黒田　勝）

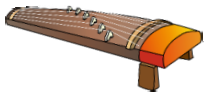
３月の予定　　１７日（水）　令和２年度卒業証書授与式
２３日（火）　修了式

東2病棟

新しい年がスタートしました。東２では「冬」や「お正月」をテーマにした学習に取り組みました。お正月あそびでは、室内でおもちつき、雪合戦、はねつき、福笑い、たこあげ、ぼうずめくりを楽しみました。ぼうずめくりでは、友だちと一緒の場ですることはできないので、取れた枚数をお互い報告しあって競い合いました。相手の枚数を聞く時はドキドキでした。今年の干支である「牛」の映像も見ました。すぐ近くの共進牧場の牛です。本物の牛に「大きいなあ」と驚いていました。

東3病棟

2021 年が始まりました！１月は、お正月行事やお正月遊びが目白押しです！お餅をついたり、お琴をひいたり、おみくじでステキなメッセージを引き当てたりしました。幸先よいスタートをきることができました。そして、みなさんそれぞれ、お正月のいろいろな遊びを楽しみました。はねつきに、すごろく、カルタとりに、たこあげ、コマ回しに、だるま落とし等々、目を見開いたり、指や舌を動かしたり、満面の笑みになったりしながら、昔ながらの遊びを、大いに満喫しました。



西2病棟

新年がはじまり、「お正月」をテーマに学習しました。羽根つきでは、羽子板で元気よく羽をついたり、音を楽しんだりしました。また、北風を感じながら、凧あげをして、お正月の雰囲気を楽しみました。お餅つきの疑似体験では、杵を持ち、餅が伸びる様子を不思議そうに見ていました。また、ちょこんと芽を出したヒヤシンスを見て、花が咲くのを楽しみにしているようでした。

西3病棟

西３病棟では、門松、しめ縄、正月くじ、お年玉など、お正月の雰囲気を感じました。正月遊びの学習では、羽子板で羽根突きをしたり、ミニサイズの臼と杵で餅つきをしたり、凧あげをしたりして元気いっぱい楽しみました。凧あげでは、それぞれに牛の絵を描いた凧を作り、凧が高くあがる時の風を感じました。教師と大型の百人一首を使っての坊主めくりもしました。病棟の友だち、本人の顔写真を付けた紙相撲での対戦では、「やったー」とかけ声をかけながら楽しく取り組みました。